

令和3年度スポーツ健康まちづくり事業について

金ケ崎町保健福祉センター

1 地方創生推進交付金事業の名称

飛び地自治体連携による成果連動型スポーツ健康まちづくり事業

2 連携自治体等

兵庫県西脇市、京都府南丹市、福井県大野市、株式会社つくばウエルネスリサーチ、株式会社タニタヘルスリンク

3 地方創生として目指す将来像

100歳になっても生涯現役で活躍できるまちとして、地域活動に参加し、スポーツ・健康づくりを楽しみ、地域で役割を持ちながら暮らすことができるまちの実現を目指していく。

4 令和3年度事業の概要

(1) 健幸ポイント事業

・昨年度まで、自己申告による紙ベースでの集計で実施していた健幸ポイント事業を、株式会社タニタヘルスリンクのシステムを導入し、大幅に拡充。具体的には、スマートフォンのアプリ又は電子歩数計（活動量計）により歩数を計測し、株式会社タニタヘルスリンクのクラウド上で歩数管理を行い、データに基づいて目標管理を行えるように改善。

さらに、体組成計を導入し、歩くことにより体脂肪率や筋肉量がどのように変化しているか科学的エビデンスに基づいた効果を実感できるように拡充。

令和3年度参加者目標 500人（18歳以上の町民） → 結果 464人（92.8% 達成○>90%）

(2) 健康の駅整備

・町民が健康増進を目的に集まれる施設をみどりの郷に整備予定。

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言の影響により計画が遅れているが、体組成計、ザリッツ（足の筋肉とバランスを測定する器具）、エアロバイクなどを株式会社タニタヘルスリンクプロデュースで整備する。

(3) 健幸アンバサダー養成

・半日程度の研修を受け、口コミで健康増進を普及する人材を育成予定。

当初は農繁期後の11月に開催する予定であるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては大幅にずれ込む可能性有。

(4) その他

・町民の健康意識向上のため、筑波大学久野教授の講演（当初は令和3年9月21日に開催する予定で、広報等で周知していたが、緊急事態宣言の延長のため中止）や、株式会社タニタヘルスリンクによるリモート講座を予定しているが、こちらも新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては大幅にずれ込む可能性有。